資料　6

城崎国際アートセンター
平成 28 年度アーティスト・イン・レジデンス プログラム選考結果

城崎国際アートセンターは、舞台芸術のアーティスト・イン・レジデンスとして、年間を通して国内外からアーティストを受け入れ、滞在制作を行っている。

過日募集した、平成 28 年度のアーティスト・イン・レジデンス・プログラムの選考結果がまとまったのでお知らせする。

１　募集期間

平成 27 年５月１日（金）～６月 16 日（火）

２　応募総数

40 件　（13 カ国）

３　選考方法

選考委員４人と城崎国際アートセンター職員によって構成される選考委員会で、書類審査により選考。舞台芸術を中心とした芸術の創造に関わる活動を以下の観点から審査した。

(1)　選考基準

ア　滞在中に行う芸術文化活動を城崎の名と共に国内外に発信するプロジェクト

イ　実現性が確保されている活動

ウ　以下のいずれかの点で優れた成果を期待できる活動

(ｱ)　国際性
普遍的な価値を積極的に日本国内外に展開する展望を持つ作品や活動

(ｲ)　地域性
豊岡・城崎と他地域を結び付け、交流を生み出すことに貢献する作品や活動

(ｳ)　先駆性
新たな発想や手法によって舞台芸術が社会に果たす、これまでにない役割を示す作品や活動

(ｴ)　将来性
これからの収斂によって未来の芸術表現にインパクトを与えることが期待される作品や活動

⑵　選考委員

氏　名	役　職　等
平田オリザ	劇作家、演出家、青年団主宰、豊岡市芸術文化参与 城崎国際アートセンター芸術監督
佐東範一（さとうのりかず）	NPO 法人 Japan Contemporary Dance Network 代表 城崎国際アートセンター・アドバイザー
相馬千秋（そうまちあき）	アートプロデューサー、NPO 法人芸術公社 代表理事
木ノ下智恵子（きのしたちえこ）	大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任准教授

4　選考件数

17 件〔日本９件、シンガポール２件、フランス２件、ドイツ１件、オーストラリア１件、アメリカ１件、カナダ１件　（計７か国)〕

※　ただし、国名は、代表者又は団体の所在国による。

5　公募と選考結果の特色

⑴　応募総数が、昨年度 15 件から、今年度 40 件に増加していることから、城崎国際アートセンターの事業や活動の評価が舞台芸術の業界内で高まっていることが見て取れる。

⑵　採択が決定した事業の分野は、演劇９件とダンス８件であり、バランスの良いラインナップとなった。

⑶　滞在期間中、市内小・中学校へのアウトリーチでのワークショップを実施するなど、子どもたちが一流のアーティストと交流する機会を積極的に実施する方向で、調整している。

6　選考レジデンスの概要

別紙「城崎国際アートセンター　平成 28 年度アーティスト・イン・レジデンス・プログラム」のとおり

〔問合せ〕豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016
事業内容については
城崎国際アートセンター　℡0796-32-3888